令和８年１０月２２日
教育委員会報告資料 No. 1

教　育　長　室

令和７年度　決算算特別委員会の総括質問について（教育長答弁）

総括質問（11 問）

池田　こうじ委員（自民党議員団）

12　「港区安全の日」と子どもの安全について

（１）セーフスイム教育について　【教育指導担当】

（２）通学路の安全確保について　【学務課】

16　学びと文化、地域のにぎわいについて

（１）今ある区立中学校への支援と優先順位について　【先端教育担当】

（２）多様なスポーツ環境の整備について　【生涯学習スポーツ振興課】

野本　たつや委員（公明党議員団）

８　区立中学校における進路支援講座について　【教育人事企画課】

阿部　浩子委員（立憲・みなと政策会議）

12　学童疎開に関する歴史資料の平和学習への活用について　【教育指導担当】

福島　宏子委員（共産党議員団）

７　給食費相当額の支給について

（１）区立の無償化分と同額を私立学校等に通う児童・生徒にも支給することについて　【教育長室】

（２）区立学校に在籍する不登校の児童・生徒にも支給することについて　【学務課】

琴尾 みさと委員（都民ファーストの会）

２　学用品について　【学務課】

とよ島 くにひろ委員（参政党の会）

３　教科書調査研究委員会について　【教育指導担当】

白石さと美委員（白石さと美）

５　認知症教育について　【教育指導担当】

令和7年度　決算特別委員会の総括質問について

総括質問（11問）

委員名（会派名）	池田　こうじ 委員（自民党議員団）
質問項目 【担当課】	12 「港区安全の日」と子どもの安全について (1)セーフスイム教育について　　【教育指導担当】
質問要旨	セーフスイム教育について、実施校数、参加人数、効果の検証状況を伺うとともに、今後さらに広げる考えについてお聞かせください。
答弁内容	今年度の実施校は、昨年度の芝浜小学校1校から4校に拡大し、芝浜小学校の全学年並びに白金の丘学園白金の丘小学校、御田小学校、笄小学校の3年生、計1064名を対象に、85回の授業を実施しております。 外部指導員を活用し、一人ひとりの泳ぐ力に応じた少人数による段階的な指導を行ったことにより、安全に水に親しむための技能が向上するとともに、水難事故に遭遇した際に、自らの命を守るための具体的な行動への理解が深まり、その定着につながっております。 引き続き、児童、保護者及び学校からの評価を把握するとともに、児童の泳ぐ力や水への慣れ、安全に水に親しむ態度の変化を評価し、その成果と課題を踏まえ、教育課程への位置付けについて検証し、指導内容及び実施体制のさらなる充実を図ってまいります。
質問項目 【担当課】	12 「港区安全の日」と子どもの安全について (2)通学路の安全確保について　　【学務課】
質問要旨	隣接校へ通う子どもたちの通学路の安全確保と再開発工事車両への安全対策について、区の取組を伺います。
答弁内容	教育委員会では、学校選択希望制により隣接校を選択する場合には、保護者に学校までの経路の安全性を確認するよう求めるとともに、各学校において、隣接区域から通学する児童も含め、子どもたち全体への交通安全指導を定期的に実施し、事故の未然防止に取り組んでおります。 また、再開発の大規模工事が実施される際には、事業者に対し、通学路の確認や登下校時間帯の通行抑制など、必要な安全対策を講じるよう求めております。 こうした取組に加え、学校、PTA、地域、警察等と連携した通学路点検等を通じ、再開発現場の安全状況や危険箇所を確認するとともに、必要な場合には登下校誘導員を配置するなど、通学路の安全確保に取り組んでまいります。

質問項目 【担当課】	16　学びと文化、地域のにぎわいについて (1)今ある区立中学校への支援と優先順位について　【先端教育担当】
質問要旨	区立中学校への進学率が半数に満たない理由をどのように分析しているのか。そのうえで、中高一貫校を新設して人材・財源を投じることと、既存の区立中学校を充実させることをどのように比較し、優先順位を判断するのか伺います。
答弁内容	令和7年度の区立小学校卒業生の区立中学校以外への進学率は過半数を超えており、私立・国立等を選択する背景には、高校受験がなく6年間を見通した学習ができることや、大学進学に向けた計画的な指導、校風に根差した特色ある教育への期待があるものと分析しております。 教育委員会では、こうした状況を子どもの個性や能力に応じた教育環境を求める多様なニーズの表れと受け止め、全区立中学校での海外修学旅行の実施を始めとする国際理解教育の充実、個別最適な学びの推進など、既存の区立中学校の魅力向上に積極的に取り組んでおります。 区立中学校の充実と区立中高一貫校の検討は、多様な教育ニーズに応えるための両輪の取組であると考えております。そのため、区立中学校の充実を基本としながらも、希望する子どもに、港区ならではの学びを、高校段階まで深められる環境を選択肢として提供するとともに、特色として、区立小中学校での探究学習や部活動等の連携・交流を図り、既存校の学習活動の充実にもつながる中高一貫校の検討を進めていきたいと考えております。
質問項目 【担当課】	16　学びと文化、地域のにぎわいについて (2)多様なスポーツ環境の整備について　【生涯学習スポーツ振興課】
質問要旨	芝浦中央公園運動場大規模改修工事が予定されていると聞いているが、改修を機に、区民ニーズを踏まえ、これまで以上に多様なスポーツを楽しめる環境を整備すべきと考えるが、いかがか。
答弁内容	芝浦中央公園運動場の大規模改修は、老朽化した設備の更新のみならず、多様化するスポーツニーズへ的確に対応できる施設を整備する貴重な機会と捉えております。 改修に当たっては、令和6年12月から令和7年7月まで実施した運動・スポーツの実施場所等に関する需要調査において、運動場の団体利用者、在住・在勤・在学者等から広くいただいたご意見や、芝浦中央公園運動場利用者アンケート等の結果を踏まえ、安全性や利便性の向上を図るとともに、より多様なスポーツを楽しむことができる魅力的な施設となるよう検討を進めてまいります。

委員名(会派名)	野本　たつや　委員(公明党議員団)
質問項目 【担当課】	8　区立中学校における進路支援講座について　【教育人事企画課】
質問要旨	進路支援講座「みんなとゼミナール」について、成果と課題を踏まえつつ、一人ひとりの進路実現に向けて、生徒の希望や学力に応じて学べる「進路実現のための学びの場」として、さらに拡充すべきではないでしょうか。教育長の考えを伺います。
答弁内容	開講3年目を迎えた進路支援講座「みんなとゼミナール」は、毎年130名以上の生徒が受講し、これまでの年度末アンケートでは、受講生徒の85%以上が講座に満足していると回答しております。受講生徒からは「授業がわかりやすく学力が上がった」「丁寧に教えてくれて勉強する習慣がついた」などの声が多く寄せられており、全ての受講生徒が無事に進路を決定することができております。 高い満足度を得られている一方で、一部の受講生徒からは「家から遠い」「部活との両立が大変」「授業の進みが早い」などの声もあり、会場校が2校であることや、受講生徒の習熟度の差が大きいことが課題であると考えております。 今後、教育委員会はこうした成果と課題を踏まえ、より効果的な事業のあり方について検討してまいります。

委員名(会派名)	阿部　浩子　委員(立憲・みなと政策会議)
質問項目 【担当課】	12　学童疎開に関する歴史資料の平和学習への活用について　　【教育指導担当】
質問要旨	現在、教育委員会が学校資料を調査しているが、今後、学童疎開に関する資料を取りまとめ、後世に伝えるとともに、平和学習に活用してほしいと考える。区の考えを伺う。
答弁内容	教育委員会では、児童が命の尊さや戦争の悲惨さについて学ぶ平和学習を各学校で計画的に進めております。学童疎開に関する資料は、地域の歴史を伝える上で重要なものと考えており、現在、学童疎開に関する資料を含めた学校歴史資料の展示方法の検討を進め、区立学校や郷土歴史館などで展示・保管している学校歴史資料の現状・実態を把握するための調査を行っております。 今後、教育委員会では、この調査結果を踏まえ、学校歴史資料の展示にとどまらず、児童・生徒が学童疎開をはじめとした戦争の歴史を自分事として捉え、平和の尊さについて主体的に考えることができる教材として、各学校の平和学習に活用してまいります。

委員名(会派名)	福島　宏子　委員(共産党議員団)
質問項目 【担当課】	7　給食費相当額の支給について (1)区立の無償化分と同額を私立学校等に通う児童・生徒にも支給することについて 【教育長室】
質問要旨	区立以外に通う児童・生徒にも区立と同様の港区の基準で給食費相当額を支給すること。答弁を求めます。
答弁内容	私立学校等に通う児童・生徒の保護者への給食費相当額の支給は、港区から都内の様々な自治体に所在する私立学校等に通う各家庭の状況を踏まえ、区として東京都の広域的基準を用いております。 また、私立学校等の昼食内容の実態や経費も多様であることから、現時点では、東京都の基準額に基づき支給することが妥当と考えております。
質問項目 【担当課】	7　給食費相当額の支給について (2)区立学校に在籍する不登校の児童・生徒にも支給することについて　　【学務課】
質問要旨	区立学校に在籍し、学校に「行かれない・行かない」児童・生徒にも給食費相当額を支給すること。答弁を求めます。
答弁内容	区立学校に在籍し、登校が困難な不登校の児童・生徒への給食費相当額の支給については、国や東京都の補助制度、他自治体の取組などの調査結果に加え、私立学校等に通う児童・生徒への支援との均衡を踏まえ、今後の支援の在り方を検討してまいります。

委員名(会派名)	琴尾　みさと　委員(都民ファーストの会)
質問項目 【担当課】	2　学用品について　　【学務課】
質問要旨	柔道着の貸出について取り組んでもらいたいと思うが、いかがか。
答弁内容	教育委員会では、保護者負担の軽減を重要な課題であると認識しており、授業で一律に使用する補助教材及び学習材料、校外学習、移動教室等の無償化に取り組んでおります。 柔道着の貸出しについては、今後、学校への個別訪問等を通じ、貸出しを実施している学校の工夫やノウハウを共有しながら、各学校の実情に応じて検討が進むよう、引き続き学校に働きかけてまいります。

委員名(会派名)	とよ島　くにひろ　委員(参政党の会)
質問項目 【担当課】	3　教科書調査研究委員会について　　【教育指導担当】
質問要旨	教科書調査研究委員会に一般の保護者の意見を反映させるべく、有志の保護者枠を設けてはいかがか。
答弁内容	教科書採択に当たっては、港区立学校教科用図書採択要綱に基づき、専門的な見地から公正かつ適正な調査・研究を行うため、教科書調査研究委員会において学校関係者による調査・研究を実施しております。 保護者や区民の皆様の御意見については、教科書展示会におけるアンケートを通じて広くお聴きし、その内容を教育委員へ情報提供するなど、採択に当たっての参考としております。 今後、教育委員会では、教科書展示会の周知を一層充実させるとともに、より多くの保護者や区民の皆様から御意見をいただける環境づくりについて検討することで、教科書採択の透明性の向上と開かれた採択の推進を図ってまいります。

委員名(会派名)	白石　さと美　委員(白石さと美)
質問項目 【担当課】	5　認知症教育について　　【教育指導担当】
質問要旨	認知症について学ぶ機会を希望する学校だけの取組にとどめず、より多くの子どもたちに広げていくために、教育委員会としてどのように取り組んでいくのか伺います。
答弁内容	現在、すべての区立中学校において、認知症への理解を深める取組として、第3学年を対象に認知症サポーター養成講座を毎年実施し、認知症への正しい理解や当事者との適切な関わり方を学ぶ機会を設け、共生社会の実現に向けた意識の醸成を行っております。 今後、当事者への理解を一層深めることを目的として、区長部局と連携しVR等を活用した認知症の体験学習を区立小学校でモデル実施してまいります。その成果を踏まえ、各学校で順次実施することを検討する等、より多くの児童が認知症について学ぶ機会を確保し、理解促進を図ってまいります。